

学校法人城北埼玉学園 前理事長 故 近藤 文彦 「お別れの会」 知事弔辞

日時…令和六年三月七日（木） 十時三十分～  
場所…城北埼玉中学・高等学校 近藤記念ホール

本日ここに、学校法人城北埼玉学園前理事長 近藤文彦先生こんどうふみひこお別れの会が開催されるに当たり、謹んで追悼の言葉を申し上げます。

県内外の皆様には大きな驚きと深い悲しみをもたらした近藤先生の悲報に接してから早や三か月となりました。

埼玉県の私学教育の振興に多大な功績を残してこられた近藤先生の存在はかけがえのないものでした。

近藤先生は、昭和六十二年四月、学校法人城北埼玉学園城北埼玉高等学校教諭に就任されました。平成十一年十二月には同法人理事長に就任され、同十四年四月城北埼玉中学校開校とともに中高一貫の制度を導入、同中学・高等学校校長を九年間務められるなど、要職を歴任されました。

学校法人理事長としては、ここ近藤記念ホールの建設、パソコン教室の設置、室内プールや剣道場の改修工事、教室のLED化などを積極的に推進し、生徒の学習環境の充実に努められました。

また、教育者として、個々の生徒の特性を理解し、常に周到な準備と計画をもって授業を行い、生徒の興味と勉学に対する意欲を喚起してこられました。令和二年には、城北埼玉高等学校にフロンティアコースを設置し、課題解決型の学習やプレゼンテーションによる表現力などの育成に努め、新たな大学入試に対応できる教育を推進されました。

近藤先生は私学の関係団体役員としても多岐に御活躍されました。平成二十六年六月から同二十八年五月まで埼玉県私立学校助成審議会委員として、令和三年四月から同四年三月まで埼玉県私立学校審議会委員として、常に的確な意見を述べられ、埼玉県の教育の向上に尽力されました。

埼玉県私立中学高等学校協会においても、平成十四年六月から同二十四年四月まで及び同二十八年五月から令和四年四月まで理事として、平成二十四年五月から同二十八年四月まで及び令和四年五月からは同協会副会長として、二十一年の永きにわたり、埼玉県の私学振興に貢献されました。

近藤先生の私学教育に対する真摯な取組とその指導力は、学園関係者のみならず、地域、私学教育関係者から高く評価されていることから、平成二十七年十一月十四日に、埼玉県知事表彰を贈呈させていただきました。また、平成三十年十一月六日には文部科学大臣表彰を受章されました。

こうした偉業を達成されたことは、近藤先生がその卓越したリーダーシップと深い献身をもって、社会全体に尽力されたことを物語っています。

近藤先生は、「着実・勤勉・自主」という城北埼玉中学・高等学校の校訓のもと、一貫して「人間形成」と「大学進学指導」を2本の柱とした教育に力を注がれてきました。文武両道を希求し、学び合い、励まし合い、支え合いの団体戦の精神を説く姿は、情熱に満ち溢れていました。

近藤先生が愛情を注がれた生徒は、この三十六年で実に一万二〇〇〇名を超え、社会で活躍する人材へ成長を遂げました。そして、これからも、近藤先生の御遺志を受け継いで活躍していかれるものと確信しています。

私も、埼玉の私学教育の振興に力を注いでこられた近藤先生の志をしつかり受け止め、「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向け、全力を尽くしていくことをお誓い申し上げます。

結びに、近藤文彦先生の御冥福をお祈り申し上げますとともに、御家族をはじめ関係の皆様のご健康を祈念申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

令和六年三月七日

埼玉県知事 大野元裕